

後期高齢者医療制度のお知らせ

平成26年度の保険料などについて



■7月に保険料額をお知らせします

平成26年度の保険料は、7月に個別にお知らせします。

《保険料の計算方法》

均等割 【一人当たりの額】 51,472円	+	所得割 【本人の所得に応じた額】 (平成25年中の所得-33万円) × 10.52%	=	1年間の保険料 (100円未満切り捨て)
---	---	---	---	--------------------------------

- 年間の保険料限度額は57万円が上限です。
- 所得の少ない人は、世帯主や被保険者の所得に応じて保険料が軽減されます。
- 年度の途中で加入したときは、加入した月からの月割で計算します。

保険料のお支払いは、「年金からのお支払い」と「口座振替」を選ぶことができます。
口座振替を希望する方は役場住民課年金保険係に問い合わせください。

※保険料のお支払いが困難な場合は役場住民課年金保険係へ相談してください。災害、失業などによる所得の大幅な減少、その他特別の事情で生活が著しく困窮し、保険料のお支払いが困難な方は、保険料の減免を受けられる場合があります。

■ジェネリック医薬品の利用について

- 医療機関で処方される薬には、新薬(先発医薬品)とジェネリック医薬品(後発医薬品)があります。
- ジェネリック医薬品の処方を希望する方は、医師や薬剤師にその旨を伝えるか、医療機関や薬局の窓口に「希望カード」を提示することによりお願いすることができます。
「希望カード」が必要な方は役場住民課年金保険係まで問い合わせください。

効き目・安全性について

ジェネリック医薬品は、新薬と同等の効果・効能を持ち、厚生労働省の基準を満たしている安全なお薬です。希望する場合は、必ず主治医や薬剤師によく相談しましょう。

価格について

ジェネリック医薬品を利用すると、お薬代が安くなります。薬によって異なりますが、新薬より3割以上、中には5割以上安くなるものもあります。

問い合わせ

北海道後期高齢者医療広域連合
〒060-0062 札幌市中央区南2条西14丁目
国保会館6階

役場 住民課 年金保険係
役場1階④番窓口
☎485-2111 (内線127)

平成25年度 ごみ処理実績



日頃から、ごみの減量と分別にご協力いただき、ありがとうございます。
平成25年度のごみ処理実績は、燃やせるごみ、燃やせないごみともに増加し、資源ごみは減少、リサイクル率は0.6%下降しました。さらなる資源ごみの分別、生ごみの水切りなどにより、目標達成に向け取り組んでいきましょう。

なお、資源物売払収入の増額は、売払単価の上昇によるものです。

本町では、ごみの減量化、資源化を推進するため、生ごみ処理機本体購入費用の助成制度を実施していますが、今年度より助成金額を増額しておりますので、ぜひ利用してください。

今後ともごみの減量と分別の推進に協力をお願いします。

■問い合わせ／役場住民課環境衛生係（1階⑤番窓口 ☎485-2111内線125）

	燃やせる (t)	燃やせない (t)	資源 (t)	リサイクル率 (%)	資源物売払収入 (千円)
平成24年度	1,963	299	572	20.2	5,422
平成25年度	1,971	311	555	19.6	5,884
前年比	8	12	△17	△0.6	462

(△は減)

町立病院からのお知らせ

☆6月の外科医師は、北大消化器科外科Ⅰから1週間または2週間交代の派遣医師となります。

標茶町立病院 ☎485-2135

URL <http://www.town.shibecha.hokkaido.jp/hospital/>

☆6月の小児科診療受付時間／

- ☆お願い／
- 町立病院の医師を確保するため
- にも、緊急に診断・治療が必要
- な方を除き、できるだけ通常時
- 間帯の受診をお願いします。



	一般診療		予防接種（事前予約が必要です）	
	午前の部	午後の部	13:00～13:30	14:45～15:45
	8:45～11:00	13:00～14:00		
3日(火)	●	休診	●	休診
10日(火)	●	休診	●	休診
17日(火)	●	休診	●	休診
24日(火)	●	●	休診	●
25日(水)	●	●	休診	休診

【予防接種について】

《小児科／定期接種》 ●麻しん風しん混合・BCG・ヒブ・小児用肺炎球菌・四種混合・三種混合・二種混合・不活化ポリオの接種希望者は、小児科診療日の午前11時までに病院に電話連絡してください。（ワクチンの準備の都合上、お願いします。）

●ヒブ・小児用肺炎球菌・四種混合・三種混合・不活化ポリオは、同時接種が可能です。
《子宮頸がん》 ●定期接種（中学1年～高校1年対象）は、3日前までに病院に電話連絡してください。
●定期接種・任意接種ともに、産婦人科での診察となります。

《任意接種》 ●水痘・おたふくかぜ・65歳以上の肺炎球菌、定期接種以外の小児用肺炎球菌・子宮頸がん・麻しん・風しん・麻しん風しん混合の8種は予約が必要となりますので、総合受付窓口または電話で申し込みください。

※定期の予防接種についての詳細はふれあい交流センター健康推進係（☎485-1000）へ問い合わせください。

6月の産婦人科医師は、10日(火)～13日(金)まで札医大産婦人科講師の石岡伸一医師、それ以外の日は、齋藤國雄医師が担当します。